

事項	クロフサスグリ（カシス）の枝幹害虫スグリコスカシバの天敵線虫殺虫剤スタイナーネマ カーポカプサエ剤（バイオセーフ）による防除法												
ねらい	近年、カシスでは枝幹害虫スグリコスカシバの発生が問題になっている。しかし、これまで本種の防除に使用できる農薬はなかった。平成26年7月23日にスタイナーネマ カーポカプサエ剤がふさすぐりのスグリコスカシバに適用拡大となり、本剤を秋に散布することでスグリコスカシバを防除できることを明らかにしたので、普及に移す。												
普及する内容	<p>1 スタイナーネマ カーポカプサエ剤（バイオセーフ）は、カシスの枝幹加害部への散布で、スグリコスカシバに対して防除効果を示す。</p> <p>2 処理方法</p> <p>(1) 散布時期は、線虫の活動温度帯（15～30℃）とスグリコスカシバ幼虫の生態、虫糞の排出、カシス果実の有無を考慮し、9月中旬～下旬を目安とする。</p> <p>(2) 薬液は虫糞が見られる部位を中心に、動力噴霧器を用いて枝幹部全体にかかるように立木全面散布する。</p> <p>(3) 散布量は成木で1～5ℓ程度とし、樹の大きさに応じて加減する。</p> <p>(4) 乾燥条件下では線虫の活動が低下するので、散布は小雨時あるいは枝幹部が十分濡れている時に行い、晴天時には行わない。</p> <p>3 スタイナーネマ カーポカプサエ剤の使用法等</p> <p>(1) 名称：スタイナーネマ カーポカプサエ剤（商品名：バイオセーフ）</p> <p>(2) 有効成分：スタイナーネマ カーポカプサエ オール株（感染態3期幼虫） 250万頭／g</p> <p>(3) 毒性：－</p> <p>(4) 適用害虫及び使用方法</p> <table border="0" data-bbox="359 1108 1340 1288"> <tr> <td>ア 作物名：ふさすぐり</td> <td>イ 適用害虫：スグリコスカシバ</td> </tr> <tr> <td>ウ 使用量：2,500万頭（約10g）</td> <td>エ 希釈液量：25ℓ</td> </tr> <tr> <td>オ 使用時期：幼虫発生期</td> <td>カ 使用回数・総使用回数：－、－</td> </tr> <tr> <td>キ 使用方法：虫糞が見られる所を中心に主幹部全体に散布</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 農薬登録における適用作物名</p> <table border="1" data-bbox="359 1332 1428 1433"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふさすぐり</td> <td>カーランツ、カラント、カラント、アカフサスグリ、クロフサスグリ、カシス</td> </tr> </tbody> </table>	ア 作物名：ふさすぐり	イ 適用害虫：スグリコスカシバ	ウ 使用量：2,500万頭（約10g）	エ 希釈液量：25ℓ	オ 使用時期：幼虫発生期	カ 使用回数・総使用回数：－、－	キ 使用方法：虫糞が見られる所を中心に主幹部全体に散布		作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	ふさすぐり	カーランツ、カラント、カラント、アカフサスグリ、クロフサスグリ、カシス
ア 作物名：ふさすぐり	イ 適用害虫：スグリコスカシバ												
ウ 使用量：2,500万頭（約10g）	エ 希釈液量：25ℓ												
オ 使用時期：幼虫発生期	カ 使用回数・総使用回数：－、－												
キ 使用方法：虫糞が見られる所を中心に主幹部全体に散布													
作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例												
ふさすぐり	カーランツ、カラント、カラント、アカフサスグリ、クロフサスグリ、カシス												
期待される効果	カシスのスグリコスカシバによる被害軽減が図られ、安定生産につながる。												
普及上の注意事項	<p>1 本資料は平成27年1月21日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報検索システム」(<a href="http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm">http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm</a>)を確認すること。また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法を確認すること。</p> <p>3 薬液の調整はトレイ単位で行い、1包装（2,500万頭入りトレイ）を25ℓの水（水温15℃以上30℃以下）で希釈する。調整は直射日光の当たらない場所で行い、調整後は速やかに散布する。また、線虫は沈みやすいので、常にかき混ぜながら散布する。</p> <p>4 本剤は使用する直前まで冷暗所（約5℃）で保存する（有効年限：4か月）。</p>												
問い合わせ先（電話番号）	りんご研究所 県南果樹部（0178-62-4111） 対象地域 県下全域												
発表文献等	平成25年度 試験研究成績概要集（特産果樹）（りんご研究所）												

【根拠となった主要な試験結果】

表1 カシスのスグリコスカシバに対するバイオセーフの防除効果

(平成24年 青森りんご研県南果樹)

区	希釈濃度	調査日	1 樹当たり			死亡率 (%)	薬害
			調査主軸枝数	寄生幼虫数	死亡幼虫数		
バイオセーフ 散 布	2,500万頭/250	10月2日	10	8	2	25.0	なし
		10月9日	11.5	6	1.5	25.0	なし
		10月15日	11	7.5	1.5	20.0	なし
無 処 理	—	10月2日	10.5	14.5	0	0	—
		10月9日	11.5	14.5	1	6.9	—
		10月15日	11.5	12	1.5	12.5	—

- (注) 1 供試樹：七戸町砂子田の「青森在来」(22年生)、1区5樹(83.3樹/10a)  
 2 薬剤散布：9月21日(散布時及び前後に降雨なし)に1樹当たり50を背負式動力噴霧器で、枝幹部全体にかかるように立木全面散布した。  
 3 調査月日・方法：10月2日(散布11日後)、10月9日(散布18日後)及び10月15日(散布24日後)に各区2樹、1樹から約10本の主軸枝を地際部から採取し、茎内に寄生している幼虫数と生死及び薬害の有無について調査した。

表2 カシスのスグリコスカシバに対するバイオセーフの防除効果

(平成25年 青森りんご研県南果樹)

区	希釈濃度	1 樹当たり			死亡率 (%)	薬害
		調査主軸枝数	寄生幼虫数	死亡幼虫数		
バイオセーフ 散 布	2,500万頭/250	10	9.6	6.0	62.5	なし
無 処 理	—	10	5.2	0.4	7.7	—

- (注) 1 供試樹：七戸町砂子田の「青森在来」(23年生)、1区5樹(83.3樹/10a)  
 2 薬剤散布：9月13日(散布時及び前後に3.0mmの降雨あり)に1樹当たり50を背負式動力噴霧器で、枝幹部全体にかかるように立木全面散布した。  
 3 調査月日・方法：10月2日(散布19日後)に各区5樹、1樹から10本の主軸枝を地際部から採取し、茎内に寄生している幼虫数と生死及び薬害について調査した。



写真1 虫糞の排出が確認された枝(左)と虫糞排出(右)(平成25年9月5日撮影)  
 (矢印は虫糞の排出か所)

(参考価格) 1包装(2,500万頭入りトレイ)250希釈で、2,173円(税別)。